

## UKC ホールディングスがバイテックホールディングスとの経営統合を発表 格付を下支え

以下は、株式会社 UKC ホールディングス（証券コード：3156）が株式会社バイテックホールディングス（証券コード：9957）との経営統合を発表したことに関する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は9月14日、ソニー製の半導体などを扱う同業のバイテックホールディングス（バイテック）との間で当社を吸収合併存続会社とする吸収合併契約を締結した。両社の臨時株主総会での承認および国内外の関係当局の許認可等を得ることを前提に、19年4月1日に合併し、当社は商号をレスターホールディングスに変更する予定である。同時に、当社のデバイス事業をバイテックの完全子会社であるバイテックグローバルエレクトロニクス（VGEL）に承継させ、当社は純粋持株会社に移行。VGELは商号をレスターエレクトロニクスに変更する予定である。
- (2) 当社は過年度に多額の貸倒引当金を計上した影響で財務構成が大きく悪化し、与信管理を含めた内部管理体制の強化に取り組んでいる最中である。JCRでは、当社のガバナンス体制再構築の実効性や財務改善の進捗を見守る必要があると判断し、当社の格付の見通しをネガティブとしている。今般の経営統合では、当社が新たに発行する株式をバイテックの株主に割り当て交付する予定であり、資本の増強が見込まれる。また、商材や販路の拡充、業務効率化による生産性向上など事業基盤の強化も期待できる。JCRでは、本経営統合は当社の格付を下支えする要因になりうるとみており、経営統合の帰趨や業績、財務構成への影響などを確認していく。

(担当) 関口 博昭・山口 孝彦

### 【参考】

発行体：株式会社 UKC ホールディングス

長期発行体格付：BBB+ 見通し：ネガティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル